

土曜日は、桐の子会環境 G と民生委員さんシルバーさんが学校とその周りの環境整備をしてくださった。見違えるようにさっぱりした。ありがとうございます▼その朝、野球小僧数名が寄ってきた。今日は決勝戦だという。環境整備の後、時間ができたので、教頭先生とちょっと覗いてみた。ちょうど試合開始前のウォーミングアップの時間。ちょっと離れてその様子を見ていた。教頭先生は、複雑な心境で真ん中のバックネット付近で観戦▼試合が始まった。しばらく見ていると、監督やコーチの声掛けに心動かされた。ポジティブシンキングだった。ミスや失敗することを前提に「挑戦」させている。「勉強！勉強！」と声がかかる▼勝ちたい気持ちと同じぐらい「野球を教えたい」「実践の中でたくさんの経験をさせたい」という姿勢が伝わってきた。監督やコーチの声掛けがとても気持ちよかった▼一つ一つのプレーで大事なことを教えていく。フォローの仕方、カバーの仕方、少年野球は打撃有利な中、盗塁にはキャッチャーに投げさせ、挑戦させる。ピッチャーに牽制球を投げさせ、その意味を伝える▼上から目線で申し訳ないが、監督やコーチは野球をよく知っている「指導者」なのだ。試合後半、声が出ていなかった男の子の声が出るようになった。

「最後まで試合をあきらめない」心を鍛え、技を磨く。そんな少年野球を 20 年ぶりに見た。